



平成30年11月1日現在  
世帯数 6,162戸  
人口 15,744人  
男 7,586人  
女 8,158人

波田公民館文化委員会主催歴史バス研修

## 田中本家博物館と北斎館



波田公民館文化委員会主催のバス研修は、10月6日に参加者27人により快晴の中、実施しました。

最初に、須坂市の豪商の館田中本家を訪れ、ボランテイアガイドの説明により邸内を案内いただきました。

田中本家は、江戸中期の1733年に穀物、菜種油、酒、煙草等の商売を始め、須坂藩の御用達を勤め、その財力は藩を上回る北信濃屈指の豪商となりました。藩に多額の寄付等をした貢献度により、商人から武士に出世をした事は余りにも有名です。現在の館は、敷地面積3,000坪、屋敷は100m四方に20の土蔵があり一部を博物館として、衣装、漆器、陶磁器、雛人形等が展示され、近世の正倉院と



お昼は小布施町へ移動し、美味しい栗おこわを食べました。

北斎館は、昭和51年に開館し、葛飾北斎の肉質画、版本、錦絵、祭屋台の天井絵等を展示しています。

庭は滝が流れ、池には錦鯉が泳いで四季折々の花木が美しい庭園となっています。

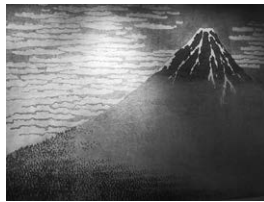
言われております。博物館に入ると雛人形が展示され、本家は女系の系統で、何代もの江戸時代から昭和初期の貴重な雛人形が目を見張りました。また、高価な衣装、市松人形、おもちも展示されていました。

80代に小布施の高井鴻山の招きにより逗留し地元祭の祭屋台の天井絵等を描きまし

た。今回の展示は、富嶽三十六景及び百景が主力でした。北斎の傑作と言われる富嶽三十六景の24点、百景の一部が展示され、学芸員の説明により知られざる錦絵の一面を目の当たりにし、感動しました。

祭屋台、2台の天井絵の鳳凰、龍図は見事でした。研修を終え主催の岩間剛代表は、「晴天に恵まれ、ガイド、学芸員の丁寧な説明で、わかりやすく、貴重な作品が見られて参加者も満足されたと思います。」

秋晴れの空が広がり、まさにスポーツ日和となった10月28日、波田町内対抗男女バレーボール大会が波田体育館と波田中学校体育館に分かれ盛大に開催されました。



### 町内公民館対抗バレーボール大会

今年度から男子は2部制となり、優勝目指して全力で戦うAリーグと、地区内外の皆さんとの親睦を図るBリーグが、それぞれ分かれて競い合

いました。Aリーグでは揃いのユニフォームに身をまとい、見るからに強豪と思えるチームも参加。

初戦はまだエンジンがかかり始めた各チームも、試合を重ねるにつれてパワー全開！サーブ一球ごとに緊張感が走ります。

「デュース」までもつれたり、フルセットまで戦う試合もありました。

波田体育館で行われた、男子決勝戦は、2区との激戦を制して勝ち上がった3区と、20区27区合同の猛攻を振り切って進出した22区との対戦となりました。



### マレットゴルフ大会結果

下島会場	
優勝	10区
準優勝	1区
第3位	15区
上川原会場	
優勝	9区
準優勝	22区
第3位	23区

### バレーボール大会結果

男子	
優勝	3区
準優勝	22区
第3位	2区、20・27区合同
女子	
優勝	10区
準優勝	20・27区合同
第3位	9区、19区、22区

けない元気な声飛び交っていました。波田中学校体育館で行われた女子の部では5チームが参加し、10区が優勝、20区27区合同チームが準優勝となりました。

同日、マレットゴルフ大会も下島、上川原の各マレットゴルフ場で行われ、穏やかな秋晴れの中、選手の皆さんは楽しくプレーしていました。



### 心に刻む作品展

松本市の波田12区町会では、今年も恒例となる文化祭(作品展)を開催しました。

文化祭には地元元住民から絵画・手芸(手まり・人形)・写真・生花・盆栽・押絵など毎年多彩な作品が展示されます。

その作品は、作者の気持ちを表すものであり、かつ集大成とした作品で、人間の味わいが



増すような作品が並びます。

公民館全館が美術館であり、多くの地元住民が文化祭を盛りたてにぎわいます。毎年文化祭を楽しみにしている住民も多いと思います。このようなイベントを開催することにより、さまざまな交流がここで生まれているようです。「人の想い」で作っている作品は、秋の景色にマッチした作品となり、人を和ませるものであるといえましょう。



### めざせJ1昇格 松本山雅



この記事が読まれる頃には、我が松本山雅は勝利の笑みを得ているだろうか？涙は飲んでいないだろうか？

知らない方の為に山雅が属するJリーグについて少し説明をさせていただきます。Jリーグは大きく3つのカテゴリーに分かれ、私達がよくテレビ等で目にするのはJ1と言います。いわゆる強いチームが集まるカテゴリーで、18チームあります。

我が松本山雅はと言いますと、その下のJ2カテゴリーになります。J2は計22チームあり、1チームあたり1年間で42試合行われます。山雅の初戦は2月25日、毎週以上のペースで試合を消化し、最

終戦は11月17日予定です。

試合に勝利すれば3点が得られ、引き分ければ1点、負ければ0点です。最終戦が終了した時点で、点数がもっとも高いチームが優勝です。

J2の1位と2位のチームは翌年J1に昇格し、逆にJ1の最下位2チームがJ2に降格する仕組みになっています。またJ2の3~6位のチームはプレーオフのチャンスを争うことができます。

過去を振り返ると山雅は、26年に見事にJ2の2位となり、J1へ昇格。奮闘したものの強豪チームになかなか勝てずに1年で降格。その後も毎年、昇格争いに絡んではいますが、あと一歩のところまで涙を飲んでいきます。

今年こそはとメンバーをさらに強化し、3戦目には負けはしたが、6戦目から18戦目までは根性の負けなし。この5試合で暫定1位です。

山雅の観戦も好きですが、試合当日、朝から仲間と盛り上がった時、時には遠くの敵陣へと応援を兼ねて旅行へ行ったり、山雅は僕に沢山の楽しみを与えてくれます。この先10年20年、山雅で楽しみたいと思います。

ありがとうございます。松本山雅。



日頃、私が思っている好きな言葉は「継続は力なり」

です。日々の生活の中で、どんなに何かしら続けている物があると思います。色々ある中で続けていくのは、けっこう大変だったりします。私も若い頃から続けている物があります。それは「合唱」です。以前、教えていただいた先生が「こつこつと続けていると、きつと良いことがあるよ。」と言われました。歌を通じて仲間がたくさんできましたし、一人では経験できない催し物にたくさん参加できました。たとえば長野国体や冬季オリンピックの開会式で歌ったり、色々な音楽祭や自分たちの演奏会などです。

近頃は、飛行機に乗って、海外の合唱団と歌って交流するということ、ずい分と積極的な経験をしてきました。

住む国は違っても、歌う事は皆、同じで、初めて会う方達なのに歌を通じて、素敵なひとと、きを味わえました。これらは、家族の協力や理解があつての事です。感謝しています。

この日々の生活の中に潤いを注いでくれる「合唱」をこれからも大事にして、続けていきたいと思ひます。